

もうひとつの尾瀬へ☆裏燧林道からアヤマ平☆

山行日：6月18日～6月19日

コース：18(火) 松戸～北千住～会津高原尾瀬口 9:22 着/9:40 発(沼山峠行きバス)～御池 11:30/11:45
～(裏燧林道)～三条ノ滝分岐 15:45～(段吉新道)～見晴らし弥四郎小屋 16:15 着

19日(水) 弥四郎小屋 6:25～龍宮十字路 7:10～(長沢新道)～富士見田代 10:15/10:25～アヤマ平 10:40
～鳩待峠着 12:50

江原さんと話している時「尾瀬の裏燧林道を歩いてみたいんだ」と聞いて、私はアヤマ平に行きたいと言ったら江原さんも歩いたことないというので2つを結んだコースを歩くことになりました。山行当日の朝、ちょっとしたアクシデントが有り焦りましたが予定通り御池に到着裏燧林道に入ります。裏燧林道はその名の通り燧ヶ岳の裾野をぐるっと回り尾瀬ヶ原に出る登山道。途中には大小の田代が有り天気が良いと平ヶ岳が見え、今の季節ミズバショウをはじめ様々なお花が咲いている。そしてここは巨木が多くぶなの森も広がっていてとても静か、三条ノ滝分岐から今回の目的である幻のお花を見るために段吉新道に入る。目的の場所に来て探すと有りました～薄紫のトガクシショウマがひっそりと咲いていた、絶滅危惧Ⅱ類指定種に指定されている小さなお花です。

5年前に見たときよりも数が少ない気がする時期の問題だと良いのだけど。段吉新道から尾瀬ヶ原に出て見晴らしに向かう、平日なので人が少なく宿泊の弥四郎小屋に無事到着～夕飯時に土砂降りの雨が降りだした。明日が心配だ・・・





19日

心配していた天気も朝起きたら雨が上って尾瀬ヶ原特有の朝霧が出ていて幻想的。出発するときには青空も見えてきたので3人ほっとして見晴らしを後に龍宮に向かう。龍宮十字路から長沢新道に入るとぶなの素敵な森が広がり、思っていたよりも歩きやすい登山道を登って行く。昨日の雨で木道が濡れているので慎重に歩き、富士見田代のベンチで燧ヶ岳を見ながら一休

み、富士見小屋には行かずアヤメ平に向かいます。尾根に出たら展望がいきいきに開けアヤメ平に着きました。昔は天上の楽園と言われたアヤメ平も昭和30年代のブームのときハイカーが湿原を踏み荒らして荒廃してしまったらしい。現在も湿原の復元作業が進められていて、いまでは小さなお花が咲くまでに回復してきたようでたくさんの花が咲いてお花畑になっていた。

自然を壊すのは一瞬ですが復元するには本当に長い長い時間が掛かるのですね、標高1968mの山稜に有るアヤメ平は思っていたとおり素敵な場所でした。ゆっくりしたいところですが空模様が怪しいのでアヤメ平を後に鳩待通りを歩いて無事鳩待峠に到着～なんとかお天気が持って良かった。メインの尾瀬ヶ原や尾瀬沼にはたくさんの人が訪れています、けれどちょっとはずれるとハイカーも少なく静かなもうひとつの尾瀬がありました。やっぱり尾瀬はいいな～



燧ヶ岳とアヤメ平